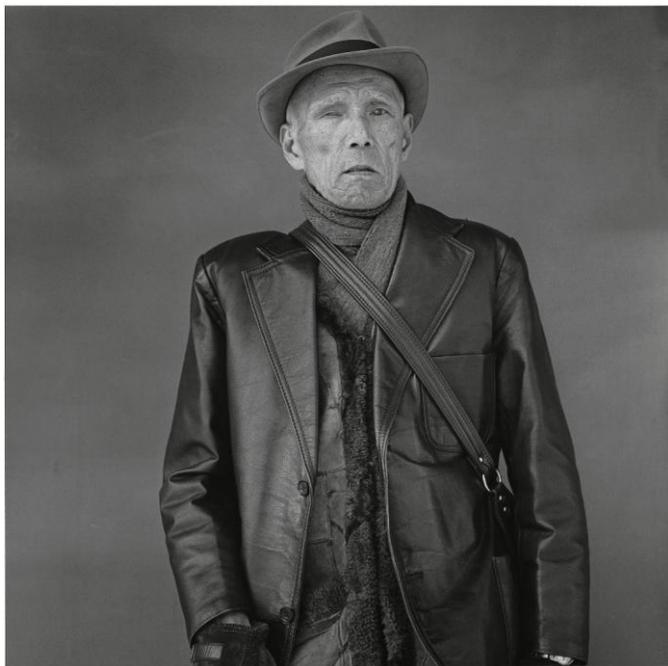


Hiroh Kikai : PERSONA

鬼海弘雄写真展 PERSONA 東京ポートレイト、インディア、アナトリア



1. 皮装束の男 1985

©Hiroh Kikai

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび伊丹市立美術館では2012年11月10日(土)から12月24日(月祝)まで「鬼海弘雄写真展 PERSONA 東京ポートレイト、インディア、アナトリア」を開催いたします。

1945年山形県に生まれた鬼海弘雄は、映画青年として学生時代を送った大学で哲学を修めた後、トラック運転手、マグロ漁船の乗組員などさまざまな職業を転々とする中、アメリカの写真家ダイアン・アーバスの、人間の核へ肉薄した作品に大きな衝撃を受け、写真家として身を立てる決意をします。以来、現在まで写真表現をひたすら追及することに身を投じ、土門拳賞他数々の賞を受賞しています。

本展では、強烈な存在感と詩情をあわせもつ人々を40年以上にわたって撮り続けている『PERSONA』、人の営みの匂いを写し出す町のポートレイト『東京迷路』、『東京夢譚』のシリーズにくわえ、鬼海弘雄のもうひとつのライフワークである『インディア』と『アナトリア』から、厳選したモノクロ作品約200点を一堂に展示します。

写真にしか表現できない「ちから」とは何かという直接的な問いかけに真っ向から取り組み、人間という摩訶不思議な生き物に対する尽きない好奇心と愛情が注ぎ込まれた作品群は、普遍的な「人間」の姿の迫力と美しさで観る者を圧倒します。

鬼海弘雄の関西で初の大規模な集成展となる本展は、人間存在の根源に迫る写真家・鬼海弘雄の全貌に触れる貴重な機会です。

つきましては、この好機にぜひ貴媒体にて「鬼海弘雄写真展 PERSONA 東京ポートレイト、インディア、アナトリア」をご紹介しますよう、よろしくお願い申し上げます。

開催概要

展覧会名：「鬼海弘雄写真展 PERSONA 東京ポートレイト、インディア、アナトリア」

会 期：2012年11月10日(土)-12月24日(月祝)

開館時間：午前10時-午後6時(入館は午後5時30分まで)

休 館 日：月曜日(ただし12月24日[月祝]は開館)

会 場：伊丹市立美術館

入 館 料：一般700(600)円、大高生350(250)円、中小生100(80)円

※()内は20名以上の団体割引料金

※兵庫県内の小中学生はココロカード、クローバーカード提示にて無料

※4市1町(伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町)の高齢者割引有(平日は60歳以上、土日祝は65歳以上)

名 義：主催/伊丹市立美術館[公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市]、共催/伊丹市教育委員会

企画協力/クレヴィス、助成/公益財団法人花王芸術・科学財団

協賛/キヤノンマーケティングジャパン株式会社、富士フイルム株式会社

関連企画：アーティスト・トーク

鬼海弘雄

日時／11月11日(日)、12月1日(土)、2日(日)

各日 14:00-15:00

場所／本展会場内

* 聴講無料・要観覧券、申込不要

対談

鬼海弘雄×いしいしんじ(作家)

日時／11月10日(土) 14:00-15:30

場所／美術館1階講座室

定員／先着100名

* 聴講無料・要観覧券、申込不要

* 当日 11:00 より整理券を配布いたします。



2. 独り暮らしの女性のペットになったうさぎ 1985

鬼海弘雄について

1945年、山形県生まれ。法政大学文学部哲学科卒業後、職工、造船所工員、遠洋マグロ漁船乗組員、暗室マンなど様々な職業を経て写真家に。1973年より浅草で撮り続けている肖像写真群は『王たちの肖像』『PERSONA』などの写真集に集成されている。東京各地、インドやトルコの各シリーズも継続中。

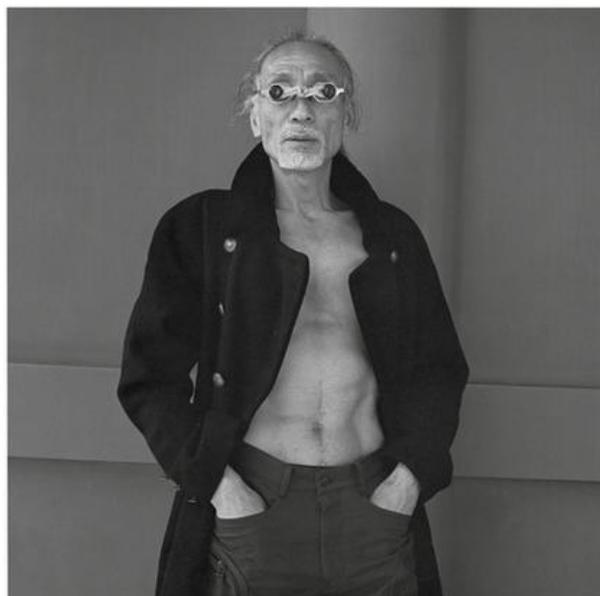
2011年、「鬼海弘雄写真展 東京ポートレート」(東京都写真美術館)、「鬼海弘雄写真展 PERSONA 東京ポートレート、インド、アナトリア」(山形美術館)が開催される。

日本写真協会賞新人賞(1988)、伊奈信男賞(1988)、写真の会賞(1993)、さがみはら写真賞(2002)、土門拳賞(2004)受賞。東京都写真美術館、アリゾナ州立大学、ニューヨーク国際写真センター(ICP)、土門拳記念館、ヒューストン美術館、フィラデルフィア美術館などに作品が収蔵されている。

主な著作に、『王たちの肖像』(1987、矢立出版)、『INDIA』(1992、みすず書房)、『や・ちまた - 王たちの回廊』(1996、みすず書房)、『東京迷路』(1999、小学館)、『印度や月山』(1999、白山社)、『しあわせ〜インド大地の子どもたち』(2001、福音館書店)、『PERSONA』(2003、草思社)、『東京夢譚』(2007、草思社)、『Asakusa Portraits』(2009、Steidl)、『ANATOLIA』(2011、クレヴィス)など。



3. 大工の棟梁 1985



4. 舞踏家、吉本大輔 2001

本展覧会に関するお問合せ先

伊丹市立美術館

多(おの)忠秋

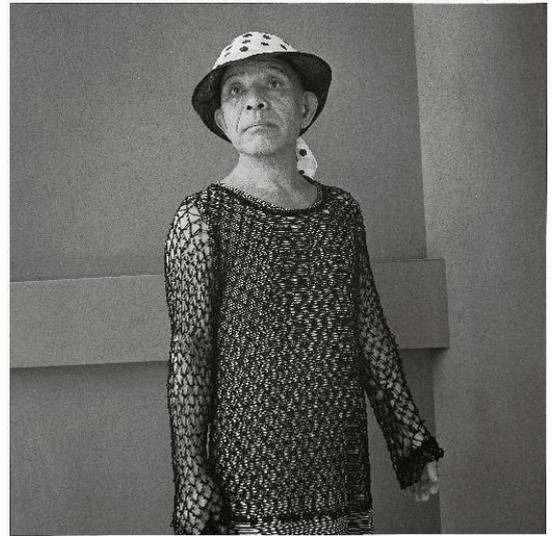
〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20

tel.072-772-7447 fax.072-772-5558

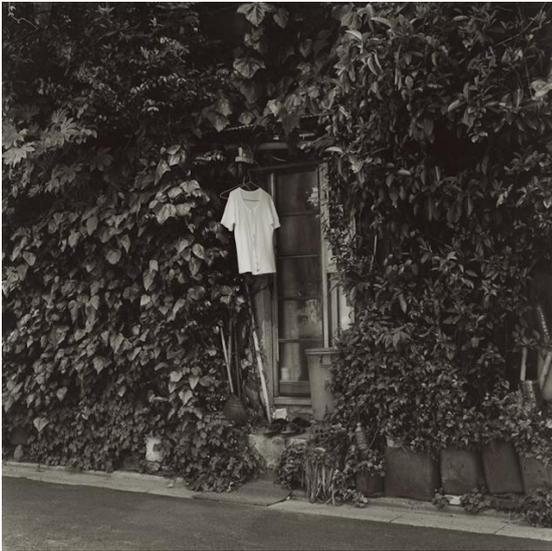
ohno@artmuseum-itami.jp



5. 川崎市中原区田尻町 1985



6. 日にちを間違え、花火大会だと思ってきてしまったというひと 2000



7. 目黒区上目黒 1997



8. 遠い砂漠地からの巡礼 プリー 1996



9. ひとり、ブランコ遊びをしていた脚に障害のある少女 カフランマラシュ 1996

「鬼海弘雄写真展 PERSONA 東京ポートレイト、インディア、アナトリア」(伊丹市立美術館)

広報用画像とチケットプレゼントの申込書

各位

前略 このたび伊丹市立美術館では2012年11月10日(土)から12月24日(月祝)まで「鬼海弘雄写真展 PERSONA 東京ポートレイト、インディア、アナトリア」を開催いたします。貴媒体での掲載にあたり、画像、読者プレゼントのための展覧会チケットがご入用の際は、下記書類にご記入の上、美術館までFAXあるいは郵送にてお申し込みいただきますよう、お願い致します。

草々

必要な箇所に☑を入れ、下記の貴媒体情報にご記入ください。

画像 (別紙の広報用画像一覧よりお選びください。)

希望画像 no. : _____ 画像名 _____

希望画像 no. : _____ 画像名 _____

希望画像 no. : _____ 画像名 _____

*画像データ(350dpi)をメールにてお送り致します。それ以上の解像度をご希望の際は、お問い合わせください。

*ご使用の際は、キャプションとして、作品名 および ©Hiroh Kikai を明記してください。

*部分使用やトリミング、図版の上に文字を重ねるなどの処理はご遠慮ください。

チケットプレゼント用 招待券

5組 10名様

10組 20名様

*1組は2名様となります。10組20名様まででしたら何組でも可能です。お問い合わせください。

掲載媒体名 : _____ 掲載予定日 : _____

御社名 : _____ ご担当者名 : _____

e-mail: _____

TEL: _____ FAX: _____

ご住所 : 〒 _____

*本展記事をご紹介くださる際は恐れ入りますが校正をお送りください。

*掲載された刊行物、DVD、CD等も当館に一部ご寄贈ください。

送付先 : 伊丹市立美術館 FAX:072-772-5558

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2丁目5番20号 TEL:072-772-7447